

2026(令和8)年度 大阪府内地域連携プラットフォーム 事業計画(四半期ロードマップ)

※「会員大学」は大学コンソーシアム大阪会員大学を指す

課題	中期計画(2022～2026年度)	2026年度計画				
	目標	2026年度計画	4～6月	7～9月	10月～12月	1月～3月
課題1 大学と高校の 有機的な接続・連携の強化	(取組1) 高大連携フォーラム ・高大双方が高大接続の大きな環境変化に関する情報を共有している。 ・高大接続の諸問題を高校と大学が対等な立場で継続的に検討している。	・参加促進に向けた広報手法の再検討に加え、高大接続の観点をより明確にしたテーマ設定・展開方法を検討する。	(5月) ・企画検討 (6月～) ・登壇者調整	(8月～) ・広報開始	(10月) ・フォーラム実施	(1月～) ・成果検証、次期計画への反映
	(取組2) 会員大学情報の発信 ・高校生のニーズが高い情報を厳選して会員大学から収集している。 ・高校生に届きやすい方法で会員大学情報を発信している。	・会員大学の情報発信施策の取組は継続しつつ、媒体(紙・Web・SNS)の役割分担や発信導線の見直しを進める。	(4月) ・オープンキャンパス情報ページアップ ※年間を通じて提供 (5月) ・企画検討 (6月) ・共通大学案内チラシ作成 ・オンライン合同説明会ページPアップ	(7月) ・チラシ配布 ・高校ニーズ調査実施 (8月) ・高校生応援プロジェクトページアップ (9月) ・ニーズ調査 結果公表	(10月～) 改善策検討、情報更新	(1月～) ・成果検証、次期計画への反映
課題2 単位互換プログラムの さらなる充実	(取組1) 単位互換事業 ・センター科目と各大学が担当するオンキャンパス科目の役割やねらいが明確になっている。 ・各大学の強み、ネットワークを活かして「大阪の特徴・魅力」を総合的に学べる機会を提供している。	・大学間連携の基盤事業として継続実施し、制度運用の安定性を維持する。 ・広域単位互換事業については、参加団体間での情報共有や制度周知のあり方を含め、広域連携としての活用促進の方向性を整理する。	(4月) ・単位互換科目募集開始: 全科目 ・前期科目開講 ・広域単位互換科目募集開始(春募集) (6月) ・募集状況の確認 ・追加募集(後期科目分)の検討	(7月) ・追加募集(後期科目一覧)HP公開 ・広域単位互換科目募集開始(夏募集) (8月) ・集中科目開講 ・追加募集(後期科目)開始 (9月) ・集中科目開講 ・後期科目開講	(10月～) ・受講状況分析、事業評価、次期展開検討 (12月) ・単位互換事業説明会	(1月) ・成果検証、次期計画への反映 (2月) ・次年度提供科目集約 ・リーフレット、HP更新 (3月) ・募集リーフレットを大学へ送付
課題3 キャリア教育プログラムの充実と 支援体制の強化	(取組1) 就業体験型インターンシップ ・参加した学生が社会人としての心構えや「働くこと」についての理解を深め、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。 ・留学生、障がい学生、社会人学生など多様な学生と社会をつなぐ機会となっている。	・受入企業数等の成果を維持しつつ、参加大学数の伸び悩みや大学間のニーズ差を踏まえ、事業の位置づけ・実施形態の再整理を進める。	(4月) ・募集リーフレットを大学へ送付 (5月) ・募集開始 (6月) ・面接・選考 ・事前研修	(8月～9月中旬) ・実習期間 (9月) ・事後研修	(11月) ・成果整理・共有 ・検証、次期展開検討 (12月～) ・報告書作成	(1月～) ・成果検証、次期計画への反映 (2月) ・次年度受入先募集開始
	(取組2) プロジェクト型インターンシップ ・参加した学生が現場での経験により、より高い意識で大学での知識・能力・技術の習得に励もうと考えている。 ・学生による提案内容が連携先企業をはじめ、社会的に評価・関心を高めている。	・大学間連携として実施する意義や実施形態の見直しを進め、再検討・開発を行う。	※成果検証、次期計画への反映 (方向性に応じて適宜対応)			
	(取組3) 低年次学生対象プログラム (旧オンラインプログラム、名称: 就活クエスト) ・参集型では難しかった遠隔地や特殊な現場など、これまで知る機会がなかった仕事について、学生が具体的なイメージを持つことができている。 ・学生が、プログラムを通じて企業活動の意義とそこで働く人の役割の一端を理解している。	・これまでの参加状況を踏まえ、2026年度は実施を見送りつつ、低学年層へのキャリア支援の目的・対象・実施方法を再検討・開発を行う。	※成果検証、次期計画への反映 (方向性に応じて適宜対応)			
	(取組4) キャリア支援事業 ・時宜に応じたキャリア支援の課題に産官学が連携して対応している。(就職に困難性のある学生に対する支援、学生の多様性に対する支援など) ・就職支援のための関連団体との連携が拡大し、充実した支援を実施している。	・大学等教職員向けセミナー等については、大阪府との連携による実績を踏まえ、テーマ設定、参画大学の広がり、支援体制への接続のあり方を整理し、継続・発展の方向性を検討する。	(～5月) ・企画検討	(7月) ・大阪府共催 大学教職員向けセミナーの開催(第1回) ※以降、複数回開催予定 (9月～) ・分科会2開催(発達グレー学生就労支援策の検討)		(1月～) ・成果検証、次期計画への反映

課題	中期計画(2022～2026年度)	2026年度計画				
	目標	2026年度計画	4～6月	7～9月	10月～12月	1月～3月
課題4 国際交流の活性化	(取組1)他国・他地域との国際交流事業 ・明確な目的をもって、国際交流事業を実施している。 ・さまざまな交流プログラムを検討・実施している。	・現行の情報発信の継続に加え、外国人留学生支援および交流機能としての位置づけを整理し、次期中期計画における事業設計の方向性を検討する。	(5月) ・企画検討	(7月～) ・外国人留学生向け特設ページの情報収集 ・ページの整備		(1月～) ・成果検証、次期計画への反映
	(取組2)グローバル人材育成事業 ・日本の現状と課題を認識し、グローバルな社会課題の解決方策を考えるきっかけとなっている。 ・多文化共生・異文化理解、ソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)という価値観を育む機会となっている。	・講座は近年の参加動向や運営状況を踏まえ、目的・対象・実施形態の見直しを進める。 ・国際交流イベントについては、学生主体の企画・運営体制の持続可能性や、国内学生・留学生双方の参加促進の観点から、実施方法を再検討する。	※成果検証、次期計画への反映 (方向性に応じて適宜対応)			
	(取組3)学生英語プレゼンテーションコンテスト ・学生が発表に至るまでにグループワークを重ね、プレゼンテーションスキルを学ぶ機会となっている。 ・国際共通語としての「英語」を用いて、国際的な共通課題の解決策を斬新な発想で考え、意見交換する機会となっている。	・参画大学の拡大に向けた周知・参加形態の工夫を図る。	(5月) ・企画検討 (6月) ・発表者募集開始	(9月～) ・学生運営メンバー募集、活動開始	(10月) ・プレゼンコンテスト観覧者募集 ・企画の最終調整(～11月) (11月) ・コンテスト開催	(1月～) ・成果検証、次期計画への反映
課題5 地域連携の促進による 大阪・関西の活性化	(取組1)地域連携学生フォーラム in Osaka ・大学と行政・事業者等のコラボレーションが自発的に起こっている。 ・学生の提案事項や連携のノウハウが蓄積され、それらを大学コンソーシアム大阪の会員大学や自治体が共有している。 ・大阪・関西万博に向けて、学生がつながり、関わる場となっている。	・高大接続の視点や次世代への発信の観点も含め、事業の位置づけを整理し、展開方法を検討する。 ・運営学生については、既存の活動実績や課題(継続的運営体制の確保等)を踏まえ、持続可能な学生参加のあり方を再検討する。	(4月～) ・企画検討 ・発表者募集開始 (6月) ・学生運営メンバー募集開始	(8月) ・学生発表者決定 ・学生運営メンバー活動開始 (9月～) ・観覧者募集	(10月) ・フォーラム開催	(1月～) ・成果検証、次期計画への反映
	(取組2)地域連携情報交換会 ・大学と行政・事業者等のコラボレーションが自発的に生まれている。	・地域課題の共有・連携促進の場として継続しつつ、参加の裾野拡大に向けたテーマ設定・広報の工夫を行う。	(6月) ・企画検討 ・登壇者調整		(11月) ・サロン開催	(1月～) ・成果検証、次期計画への反映
課題6 研修による大学教職員の 資質向上とネットワーク強化 ※補足を3ページ目に記載	(取組1)各種研修事業 ・大学のニーズに応じた研修を実施している。 ・研修講師を担える人材の育成が図られている。	・初任者・中堅層・管理職層を対象とする研修体系は、会員大学における共通的な人材育成機能として継続実施する。 ・ID研修(オンデマンドを含む)については、継続的な学習機会としての位置づけを維持しつつ、内容の見直しや受講後の活用状況の把握方法を検討する。	(4月～) ・ID研修 オンデマンド配信(常設) (5月) ・企画検討 (6月) ・初任者SD研修(第1回)開催 ※以降、計2回開催	(9月) ・企画調整	(10月) ※以降、管理職者・中堅層SD研修を順次開催	(1月～) ・成果検証、次期計画への反映
	(取組2)サロンド・大学コンソーシアム大阪 ・参加者が主体的に情報交換や交流を行っている。	・テーマ設定や開催方法等を工夫し、参加大学の拡大に向けた改善を図る。	(6月) ・企画検討	(7月～) ・サロン(第1回)開催 ※以降、計2回開催 (9月) ・企画調整		(1月～) ・成果検証、次期計画への反映

課題	中期計画(2022～2026年度)	2026年度計画				
	目標	2026年度計画	4～6月	7～9月	10月～12月	1月～3月
課題7 大阪の様々な課題に対応した取り組みの拡充	(取組1) 学生ボランティアの拡充 ・事業の企画運営に学生が主体的に関わる機会が創出されている。	・国際交流部会、地域連携部会等の既存事業における学生参画の取組を継続しつつ、これまでの実績や運営上の課題を踏まえ、持続可能な学生参画のあり方を整理する。 ・あわせて、学生が参画しやすい実施方法や関わり方の工夫について検討する。	(～5月) ・企画検討			(1月～) ・成果検証、次期計画への反映
	(取組2) 連携調査・研究の実施 ・大学間、また産官学の連携による調査や研究が恒常的に実施されている。	・既存の調査・研究の取組を継続しつつ、調査結果の分析・研究・事業改善への接続を意識した運用を進める。 ・あわせて、各部会や大阪PFにおける課題整理に活用できる知見の蓄積・共有のあり方を検討する。	(4～5月) ・薬物アンケート調査実施 (6月) ・高校ニーズ調査実施	(7月) ・共同研究企画検討 (～8月) ・薬物アンケートまとめ ※9月の共同IRの実施と連動 (8月～) 共同研究開始 (9月) ・ニーズ調査結果公表		(1月～) ・成果検証、次期計画への反映 (3月) ・薬物意識調査に係る研究 報告書公表
	(取組3) 地域課題に対応した取り組みの推進 ・産官学連携による課題解決体制が整備されている。	・各事業の実績や参加者の反応等を踏まえ、地域ニーズとの関係をより明確にし、取組の重点化・体系化の方向性を検討する。 ・特に、大阪PFにおける実践・検討の蓄積を踏まえ、次期中期計画に向けた位置づけの整理を行う。	(4月～) ・企画検討 (6月) ・公開講座開催 (以降、複数回開催) ・FD・SD研修開催 (以降、複数回開催) ・活動報告会開催		(9月) ・共同IRの実施(薬物意識調査に基づく) ・上記にかかる結果をHPに公表 ・MOS資格取得講座開講(～11月まで)	(1月～) ・成果検証、次期計画への反映
	(取組4) 大阪・関西万博との連携 ・万博への積極的な参画を通じて大阪・関西の活性化に寄与している。	・現行事業における万博関連の取組・成果を整理し、万博後を見据えた継承・発展の方向性を検討する。 ・あわせて、万博を契機に形成・強化された連携関係や知見の活用可能性を整理する。	(4月～) ・成果検証、次期計画への反映			

